# 日中社会学会ニューズレター

Japan-China Sociological Society Newsletter

No.83 2020.8

## 目 次

会長あいさつ					•	•	1
第 32 回大会の	延期	とオ	-ン=	ライ	ン	荆	催
について・・					•	•	2
第 42 回 総会	報告				•	•	2
理事会報告・					•	•	4

『21 世紀東アジア社会学』について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6 在外会員レポート・・・・・・10 事務局からのお知らせ・・・・12

## ■会長あいさつ

南 裕子

例年とは全く異なる夏を迎えることとなっておりますが、会員の皆さまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルスによる感染症だけでなく、集中豪雨の被害も発生しており、皆様とご家族のご無事をお祈りいたしております。

そして、7月初旬には、元会長の中村則弘先生のご訃報に接しました。あまりに突然のことで、ただただ驚き悲しむばかりでした。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

中村則弘先生は、学会創立当初から 学会運営に関わってこられ、創立の精神を直にご存じでいらっしゃいました。 そのようなお立場から、時代や学会を 取り巻く状況の変化に対応しながらも、 学会の原点を忘れぬよう、折に触れ叱 咤激励をいただいておりました。学会 の大会などでは、前列で熱心に細かく メモを取りながら会員の報告に耳を傾 け、鋭くかつ報告者の今後につながる ようなコメントをされ、それを拝聴す るのも個人的には学会での勉強、楽し みの一つでした。そして、夜の懇親会 ではあの豪快な笑顔と大きなお声で周 囲を楽しませてくださいました。その お姿が忘れられません。

中日社会学会のとの交流の基礎は、 中村先生の会長時代に築かれました。 また、学会誌の特集企画を大変重視され、中国社会研究の新たな方向性や取り組むべき課題を示すような企画をいくつも手掛けられました。中村則弘先生の中国研究への、そして学会への思いを少しでも引き継ぐべく、目下、本学会が直面しているさまざまな課題の解決にむけて、決意を新たにしています。

本学会では、皆様ご存じのように、6月13日、14日に予定されていました大会が延期となり、総会のみ6月28日にオンラインで開催いたしました。総会での議事の詳細は、今号のニューズレターの記事をご覧いただきたくって、『21世紀東アジア社会学』の編集方針の変更など、新たな挑戦をいたします。会員の皆様が自由に情報発信し、研究を深め合うプラットフォー

ムづくりが、今後の学会の大きな方向 性となります。

コロナ禍で我々の研究活動、学会活動も多々制約されてしまいました。しかし、この状況だから見えてきたこと、できることを大切にして、活動を継続していきたいと考えています。

# ■第 32 回大会の延期とオンライン開催について

大会実行委員長 池本淳一 (会津大学コンピュータ理工学部・文 化研究センター)

### ■第42回総会報告

開催日:2020年6月28日(日)

開催場所:WEB 開催

佐藤千歳会員が議長に選出され、議 事に入った。

### 第1号議案 2019年度事業報告

以下の各項目について、中村圭事務

局長および各担当理事より報告がなさ れた。

- 1.第31回 研究大会の開催2019.6.1~6.2(東京農工大学 聶海松 大会委員長)
- 2. 第 41 回 臨時総会の開催2019.10.13 (成城大学)
- 3. 会則の変更
- 4. 機関誌『日中社会学研究』
- 第 27 号編集発行(2020.2、300 部)、 第 28 号編集
- 5.機関誌『21世紀東アジア社会学』第10号発行(2019.12発行)
- 6. 「ニューズレター」編集・発行
- 81 号 (2019.5) 、82 号 (2020.2)
- 7. 理事会開催 2 回 2019. 6. 1、2019. 6. 2 (+ネットによる持ち回り理事会 12 回)
- 8. ホームページ、メーリングリストの 運営
- 9. 学会誌の電子化公開: 21 世紀東アジア社会学』10 号 (J-stage への登載) 10. 会員概況 入会 17 名 (一般 7 人、院生 10 人)、退会 1 名
- 11. 現会員 245 名
- 一般 160 名 (うち顧問 2名), 学生 84 名 \*2020 年 5 月末
- 12. 理事担当の変更

奈倉京子理事

『日中社会学研究』編集委員会副編集 委員長就任

李明伍理事

『21 世紀東アジア社会学』編集担当理 事 →『日中社会学研究』編集担当理事 西原和久理事

事務局補佐 →『21 世紀東アジア社会 学』プロジェクト担当理事 以上、賛成多数にて承認された。

## 第2号議案 2019年度会計報告

## I. 一般会計報告

#### 収入の部

費目	予算額	決算額	增減額
前年度繰越金	1,372,133	1,372,133	0
年会費	800,000	784,000	▲ 16,000
機関誌販売	6,000	1,500	<b>▲</b> 4,500
雑収入	100	12	▲ 88
合計	2,178,233	2,157,645	▲ 20,588

#### 支出の部

費目	予算額	決算額	差額
『日中社会学研究』制作費	430,000	231,000	199,000
事業費(学会誌電子化)	300,000	105,540	194,460
事業費(その他)	15,000	0	15,000
事務費	20,000	15,089	4,911
通信費	100,000	68,364	31,636
会議費	20,000	10,000	10,000
事務局補助謝金	30,000	30,000	0
大会補助	200,000	200,000	0
年会費	10,000	10,000	0
予備費	1,053,233	0	1,053,233
合計	2,178,233	669,993	1,508,240

# II. 第 31 回大会・第 40 回総会特別会計

収入総額	468,000	
支出総額	468,000	
残額	0	学会会計に返金

#### 収入の部

大会参加費	123,000	会会員(2000円)48名、非会員(3000円)0 名、学生(1000円)27名
秘親会費	145,000	一般(4000円)31名、学生(3000円)7名
大会補助	200,000	学会一般会計より
81	468,000	

#### 支出の部

事務費	14,818	名札、ペン、テープなど文具
運営費	30,472	スタッフ昼食代、熱中症対策と して参加者用の飲料など
会場使用料	50,544	東京農工大学へ支払い
秘親会費	151,916	
実行委員長補佐	41,250	1名(時給1500円)
謝金(学生)	179,000	前日準備および当日時給1000円 (学生により勤務期間数×計算)
81	468,000	

会計担当の聶海松理事より報告がな され、賛成多数にて承認された。

#### 第3号議案 2019年度監査報告

監査結果について松木孝文理事より 報告がなされ、賛成多数にて承認され た。

## 第 4 号議案 2020 年度事業計画案

以下の各項目について、中村圭事務 局長および各担当理事より報告がなさ れた。

1. 第 32 回研究大会

Web 開催

2. 第 33 回研究大会

開催校:関西学院大学

3. 『日中社会学研究』

第28号編集発行、第29号編集

さらに『日中社会学研究』江口伸吾 編集委員長より以下が報告された。

- 編集体制の強化。
- ・特集「中国社会とコロナウィルス」 中日社会学会の協力を得て企画中。
- ・次号の募集公告は年末年始あたりに エントリー期間をアナウンス。
- ・第 30 号は、次年度大会、『21 世紀 東アジア社会学』等学会全体を見渡し て特集企画を計画。
- 4. 学会誌電子化公開

『日中社会学研究』第26号・27号

- 5. 『21 世紀東アジア社会学』
- 第11号発行、編集
- 6. ホームページリニューアル・メーリングリストの運営・「ニューズレター」プラットフォーム機能の充実について

以下、『21世紀東アジア社会学』首藤明和編集委員長より報告がなされた。

- ・プロジェクト型で編集を企画。
- ・スマホや SNS 等、随時、世界中から

双方向型の情報配信・収集が可能なように HP をリニューアル。

- ・これまでのデータベースにもアクセ ス可能にする。
- ・科研の成果等の発信に活用できるように対応する。
- ・個人の SNS、ブログ等、どの程度まで会員に公開するか、個人のコンテンツに対する責任の所在、議論のカテゴリー分類等、管理、運営は今後、作成と並行して議論を継続する。
- 7. 会員名簿の作成
- 8. 理事会開催 : 2回
- 9. 他組織・海外研究者とのネットワーク構築、連携

中日社会学学会専門委員会、社会学系コンソーシアムなど

以上、賛成多数にて承認された。

## 第5号議案 2020年度予算案

収入の部		
費目	予算額	参考:前年度予 算
前年度繰越金	1,508,240	1,372,133
会費収入	800,000	800,000
機関誌販売	6,000	6,000
雑収入	100	100
合計	2,314,340	2,178,233

支出の部
------

費目	予算額	参考:前年度予算
『日中社会学研究』制作費	450,000	430,000
事業費(学会誌電子化)	150,000	300,000
事業費(その他)	300,000	15,000
事務費	20,000	20,000
通信費	100,000	80,000
会議費	20,000	20,000
事務局補助謝金	30,000	30,000
大会補助	100,000	200,000
年会費	10,000	10,000
予備費	1,134,340	1,083,233
合計	2,314,340	2,178,233

・日中社会学研究制作費 43 万円→45

万円(次号は投稿論文数も多く、書 評充実の費用等が計上される可能 性があるため増額)

- ・学会電子化事業費 30万円→15万円 (前年度の実績より減額)
- ・事業費(その他) HP リニューアル費 用 30 万円を計上
- ・大会補助 20 万円→10 万円 (秋の大 会が Web 開催のため減額)
- ・通信費 実績約7万円→10万円(大 会運営用のソフトを学会で契約す る費用を計上)

中村圭事務局長から報告がなされ、 賛成多数で承認された。

## 第6号議案 本年度・次年度大会およ び総会の開催地・開催校について

第 32 回研究大会(大会実行委員長·池本淳一大会委員長)

2020 年 11 月中に Web にて開催予定 自由報告のみの予定

第 33 回研究大会(大会実行委員長·陳立行会員)

2021 年 6 月 5 日~6 日 (予定) 関西学院大学にて開催

以上、賛成多数にて承認された。

## ■理事会報告

日時:2020年6月14日(日)

場所:WEB 開催

出席:南裕子、西原和久、伍嘉誠、唐 燕霞、陳立行、佐藤千歳、池本淳一、 江口伸吾、首藤明和、李妍焱、石井健 一、劉楠、奈倉京子、聶海松、坂部晶子、中村圭

## (1) 南裕子会長挨拶 今期方針

HP、ニューズレターを改革して会員の成果を収集、情報発信をするなど、学会として中国社会研究のプラットフォーム機能を強化し、発信力を高めていきたい。

## (2) 第42回 総会関連

- · 6月28日10時、WEB開催
- 議案について
- ・開催方法について

## (3) 『日中社会学研究』にかんして 江口伸吾編集委員長から報告がなさ

江口伸音編集安貝長から報告かなる れた。

- ・新体制: 奈倉京子副編集長(今号は 書評を担当)、李明伍理事(主として 次号以降の特集企画を担当)。発信力 を強化。
- •第27号公刊報告/第28号進捗報告
- ・特集論文「新型コロナウィルスと中国社会」
- ・レビュー論文、学会動向等、新しい HPのコンテンツとしても検討。

## (4) 2020 年度第32回大会について

会津大学で開催予定であった 32 回 大会について池本淳一大会担当理事か ら報告がなされた。

- ・Web 開催 日程候補 11月7日(土) /11月21日(土)
- · Web 開催については石井理事と連携
- ・自由報告(本年度学会費を支払った方のみ報告可能)

# (5) 2021 年度 第 33 回研究大会開催校について

2021 年 6 月 5 日~6 日 (予定) 開催校:関西学院大学 (大会実行委員 長・陳立行会員)

## (6) 『21 世紀東アジア社会学』にか んして

首藤明和編集委員長から報告がなされた。

- ·第10号 公刊報告
- ・西原和久理事(プロジェクト担当) 就任。東アジア関連の他の研究グルー プとの架け橋に。
- ・研究プラットフォーム型、多言語型 の特徴ある学会誌。
- ・学会誌としての位置付けを、学会から明確に発信。
- プロジェクトの代表が会員であれば、非会員も論文が掲載可能。

# (7) 学会ホームページ/ニューズレター

HP リニューアル

首藤理事・石井理事に作成、見積もり を依頼。

・発信力の強化/プラットフォーム機 能の付加/双方向性機能

# (8) 2020 年度 会費徵収/会計/予 算策定

会費徵収

年会費はメールにて振り込み依頼

- 海外在住会員の徴収
- ・海外在住会員からの支払いは年2-3件程度。
- ・Paypal、クレジットカード支払い等 も検討

・本年度、HP リニューアル予算を計上、 大会補助費は 20 万円→10 万円に減額

## ■『21世紀東アジア社会学』について

## ◇『21 世紀東アジア社会学』の今後の 編集方針につきまして

日中社会学会では、『日中社会学研究』、『21世紀東アジア社会学』の2つの学会誌を発行しています。『21世紀東アジア社会学』は、当初、学会や会員による研究プロジェクトの特集をメインに据え、それによって会員の研究が表記ができる場となることを意図していました。またその内容においては、中国社会を東アジア社会のあり方に射程を広げた研究を、積極的に取り上げることを特徴としていました。

しかしながら、近年、両誌の違いが 分かりにくいという声も学会の内外か ら上がるようになりました。『21世紀 東アジア社会学』の本来の持ち味が充 分に発揮されていない状況になってい たのです。

こうした現状を踏まえ、本学会誌の ねらいを再度確認すると共に、理事会 での承認も経て、次号(第 11 号)よ り、下記の通り編集方針を変更いたし ます。

『21世紀東アジア社会学』は、つね に日本社会、中国社会、日中社会間の 関係などを念頭に置きながら 21 世紀 にふさわしい東アジア社会のあり方を 検討する論文、研究ノート、書評論文、 研究動向論文などにより構成します。 使用言語は、これまで通り、日本語、 中国語、英語が可能です。

そして、掲載される論文、研究ノートは、主に、(1)プロジェクト型の特集企画、(2)公募特集企画、にかかわるものとなります。従いまして、今後は、一般投稿論文の受け付けは行いません。一般投稿論文を受け付ける査読誌は、『日中社会学研究』のみになります。

プロジェクト型の特集、公募特集企 画については、別途ご案内いたします ので。そちらをご覧ください。

2020 年 8 月 5 日 日中社会学会会長 南 裕子 『21 世紀東アジア社会学』編集委員長 首藤 明和

## ◇日中社会学会『21世紀東アジア社 会学』第11号

「公募特集」のエントリーシート、及 び執筆要項

この度、日中社会学会では、2021 年6月中旬以降発行予定の『21世紀東 アジア社会学』第 11 号に掲載する、 下記の「公募特集」の原稿を募集しま す。

- ・公募特集①「ポストコロナ時代の 東アジア」
  - ・公募特集②「東アジアの法と文化」

締切り(10月31日)までに、応募を希望する公募特集(①あるいは②)のエントリーシートをお送りください。エントリーシートは、日中社会学会HPからもダウンロードできます。エントリーシートに基づき、特集への投稿資格を編集委員会で審査します。審査を通過した執筆者には、2021年2月28日までに論文原稿を投稿いただき、査読に基づく審査により、掲載の可否を決定します。

皆様の投稿をお待ちいたしております。

エントリーシートと原稿の送付先 『21世紀東アジア社会学』編集担当理 事

首藤 明和:

shuto(アト)tamacc.chuo-u.ac.jp 伍 嘉誠:

ngkashing(アト)live.com

[スケジュール]

2020年8月 公募開始

2020 年 10 月 31 日 エントリーシート締切り

\*「21世紀東アジア社会学」の査読範 囲外と判定されるものは1週間以内に 差戻しを決定し、原稿をお返しします。 2020年11月末特集への投稿資格の 審査結果を通知。

2021年2月28日 投稿締切り。

2021年3月下旬 一回目查読結果(不 採択 or 修正再審查 or 修正採択 or 採 択)

2021年5月初旬 再修正投稿締切り。 二回目査読結果(不採択 or 修正採択 or 採択)。

2021年5月下旬 採択通知・入稿。 2020年6月中旬以降 『21世紀東ア ジア社会学』第11号刊行。

## \* \* \* \* \*

『21世紀東アジア社会学』第11号 公募特集① 「ポストコロナ時代の東 アジア」

## エントリーシート

①論考タイトル(必要ならば副題も添えること)

### ②論考の概要

- \*ただし、応募原稿の研究の目的、分析の中身、予想される結論について説明すること。
- \*概要の文字数は、日本語の場合 1200 字以内、中国語の場合 1000 字以内、 英語の場合 600words 以内とする。
- ③全体の構成予定(章立て・目次など)
- ④引用参照する主要文献
- ⑤キーワード(3つ程度)
- ⑥投稿者氏名(ふりがな・ピンイン・ アルファベット) (共著の場合は全て の著者名を記入)。
- \*第一著者は日中社会学会会員でなければならない。但し、編集委員会からの投稿依頼あるいは投稿許可を得ている場合はその限りではない。

### ⑦所属

- ⑧郵便番号ならびに連絡先住所
- ⑨携帯電話など電話連絡先
- ⑩メールアドレス

#### \* \* \* \* \*

## 『21世紀東アジア社会学』第11号 公募特集② 「東アジアの法と文化」 エントリーシート

- ①論考タイトル (必要ならば副題も添えること)
- ②論考の概要
- \*ただし、応募原稿の研究の目的、分析の中身、予想される結論について説明すること。
- \*概要の文字数は、日本語の場合 1200 字以内、中国語の場合 1000 字以内、 英語の場合 600words 以内とする。
- ③全体の構成予定(章立て・目次など)
- ④引用参照する主要文献
- ⑤キーワード(3つ程度)
- ⑥投稿者氏名(ふりがな・ピンイン・ アルファベット) (共著の場合は全て の著者名を記入)。
- \*第一著者は日中社会学会会員でなければならない。但し、編集委員会からの投稿依頼あるいは投稿許可を得ている場合はその限りではない。

## ⑦所属

- ⑧郵便番号ならびに連絡先住所
- ⑨携帯電話など電話連絡先
- ⑩メールアドレス

#### \* \* \* \* \*

## 執筆要項

(1) エントリーシートの締め切り: 2020年10月31日

原稿の締め切り: **2021** 年 **2** 月 **28** 日 刊行時期(予定): **2021** 年 **6** 月中旬 以降

- (2) 使用言語:日本語・中国語・英語。
- (3) 書式: A 4 サイズで 40 字×40 行(MS-word) とする。

余白は、上 (35mm)、下・右・左 (30mm) とする。

英語等の欧文表記の場合も、1 頁 40 行とする。

使用するフォントは、10.5 ポイント のサイズで、日本語 (MS 明朝)、中 国語 (SimSun)

英語 (Times New Roman) とする。

- (4) 枚数:参考文献、注、図表、写 真等も入れて、18 頁を超えないこと。
- (5) 氏名は、ローマ字表記での名前 も、表記すること。
  - (6) 英文タイトルも表記すること。
- (7)論文要旨を、英語(300words 程度)、中国語(350字程度)、日本 語(400字程度)のいずれかの言語で 作成すること。ただし、論文要旨では、 本文で用いた言語とは異なる言語を用 いること。
  - (8) 著者校正は行わないので、完成

原稿(母語では無い場合は必ずネイティブチェックを受けること)を提出すること。 大選挙者論文の場合は各執筆者の 分担を明記すること。

(9) 参考文献、注、図表などの執筆 要領は、『日中社会学研究』投稿規定 (http://www.japan-china-sociology.o rg/?p=1014) に準じる。

(10) 雑誌の印刷はしないので、デジタル版のみとなる。

(11) 日中社会学会員の論文の投稿に あたっては、今年度の年会費まで滞納 なく納めていることを条件とする。

## ◇日中社会学会『21世紀東アジア社 会学』第11号

「プロジェクト企画に関しまして」

プロジェクト企画担当理事 西原和久

『21世紀東アジア社会学』の「プロジェクト企画」担当者(理事:西原和久)からのご報告:この雑誌が掲載される J-stage の冒頭の紹介文は、今後以下のように示されます。

「日中社会学会の『21世紀東アジア社会学』は、日本社会、中国社会、日中社会間の関係などを念頭に置きながら、21世紀にふさわしい東アジア社会のあり方を検討する学術論文、研究ノート、書評論文、研究動向論文などにより構成され、1年に1号刊行されます。原稿の使用言語は、日本語、中国語、英語です。」

そして、本年度に新たに発行される 第11号からは、「公募特集企画」とと もに、「プロジェクト企画」が始まり ます。そこで、ここでは「プロジェクト企画」に関してご報告します。

本年度の「『21世紀東アジア社会学』 プロジェクト企画」は、再出発を飾る べく、「21世紀東アジア社会における 連携の試みを問う」というテーマ域 画します。この企画は、国家・地域的 方も念頭に置きつつ、少なくとも東て ジアの連携が話題に上り論じられて だに至る「今後の30年」と、21世紀年 でするです。それは言うまでもなの 東アジア社会の交流の促進・平の 東アジア社会の交流の促進・平の 東アジア社会があります。 能性などを検討するものであります。

そこで、「『21世紀東アジア社会学』 プロジェクト企画」担当者は、東アジ ア共同体や東アジアの連携に関する研 究に現在取り組んでおられる方々を理 でに現在取り組んでおり、現在5名程度 の書き手が候補に上っておりますが、 の書き手が候補に上っておりますが、 の書きのではありますが、 りそのテーマならば書きたいましたメモを供 中社会学会会員の方がおましたメモを伴 って事務局にご連絡ください。 ではあ切りは「冬休み明け」を考えており ます。どうかよろしくご検討ください。 なお、理事会内で、『21世紀東アンア社会学』関係に関する「プラット

ア社会学』関係に関する「プラットフォーム」機能に関しても検討中ですが、この件についてはまたあらためてご連絡・ご報告申し上げます。また、来年度は、プロジェクト企画それ自体に関しても会員の皆様からアイデアをいた

だくようにする方向で考えていること も、申し添えさせていただきます。(文 責:西原和久)

## ■在外会員レポート

## ミシガン州の滞在所感

郝洪芳 (元京都大学博士後期課程)

博士課程在学中に何度も引っ越しを しました。京都から名古屋へ、それか ら2年前から家族の仕事関係でアメリ カのミシガン州にやってきました。

ミシガン州は、アメリカの中西部に 位置し、五大湖に面して、自然豊かな 印象があります。町が森や木に囲まれ て、芝生にリスが走り回り、鹿もあち こちよく見かけます。大湖の沿岸は絶 景が広がり、観光スポットとして人気 を誇ります。また、広大な畑が多数あ り、フルーツ狩りなど農牧場関連の行 事が季節毎にあります。秋の紅葉景色 もなかなか感動的ですが、冬は寒くて 長いです。

学術の面で挙げられるのは、ミシガン大学ですが、その中の日本研究や中国研究センターで、毎週講演やセミナーが主催され、活況を呈しています。大学の中のアジア図書館は北米で最も包括的な東アジア関係資料コレクションの一つだと言われ、日本語・中国語の書籍が多数おいてあります。私自身もここのお世話になって、研究を続けております。

ミシガン州は自動車産業で栄えた州

個人的には、こちらの生活の中で一 番興味深かったのは、公共図書館とド ライブスルーサービスです。公共図書 館は機能別スペースと豊富なプログラ ムが充実しており、住民の様々なニー ズに応え、地域の中心的な役割を果た しているように感じます。例えば、乳 幼児には絵本や歌の読み聞かせイベン トや、幼児ケアや教育に関連する講座 が定期的に開催されます。学齢の子ど もたちには、サイエンスのイベントや マジックショー、ロボット体験や動物、 昆虫の展示などのほか、オンラインと 対面による宿題支援サービスもありま す。青少年のためのメディアセンター やディスカッションの場も整備されて おり、大人には就職支援、読書クラブ などがあります。外国人向けには、ビ ザ申請や帰化のための支援があり、無 料の ESL (English as a Second Language) 会話クラスがあります。ESL クラスの時間は、場所によって午前、 午後、夜7時と、毎週何回もあります。

そして、オンラインリソースも大変充実しており、新聞や雑誌、映画、学習資源などが揃って、どこからでもアクセスできます。

もう一つのドライブスルー(drive through)は、車社会から発達したサービスのことで、車から降りずにいろんなことができるのです。例えば、スターバックスなどで注文して受け取ることや、ATM からお金の引き出しや、図書館の本の返却などができます。銀行でも車から降りずに、手続きができるところがあります。スピーカーで職員と話し、書類はあるチューブを通して、運動不足になりがちですが、便利なところがありますね。

今年に入ってから、皆様ご存知のように、アメリカでは新型コロナウィルスの被害がとても大きいです。ミシガン州では、3月11日に初めて陽性者2人が出た日の夜に、州長が記者会見して緊急状態を宣言され、現在もまだ解除されていません。大学や高校、小中学校はオンライン授業に切り替えており、多くの職場も在宅勤務になって、現在に至っています。ただ、3月23日に出された stay home order は、6月1日に解除されました。7月現在は、6段階に分けた州の再開の safe start plan の第4段階にあります。

感染拡大防止のため、ほとんどのスーパーやレストランなどが配達をするようになり、また以前からの pick up サービスは drive up になりました。つまりネットか電話で注文してから、取りにいく際に、店員が商品を車に入れてくれるサービスです。公共図書館も

同じように、予約した本などを入れて くれます。

現在、周りの人々の大きな関心は、 秋の新学期に学校がどうなるかに集ま っています。6月30日に州長から、秋 の学校の再開に向けたロードマップが 出され、感染状況に応じた対策や感染 拡大防止要求が提示されました。子ど もが通っている公立学区は7月に入っ てから、毎週 Zoom で秋に向けた計画の 説明会が行われ、毎回アンケートで保 護者の意見や要望が求められています。 現在のミシガンの状況では、選択肢は 二つあり、一つは感染が心配で子供を 学校に送りたくない家庭のための、全 てオンライン授業のプランで、もう一 つは感染防止対策の上で、午前組と午 後組に分けて毎日2時間半、週四回登 校し、残った時間がオンラインとなる プランです。ただ、もし秋になって、 ミシガン州が順調に再開の第5段階に 移行するなら、二つの選択肢の中の、 登校プランの方は感染防止対策の上、 週5日間のフル登校に変わります。一 方、もし感染がさらに拡大して、第3 段階に戻ることになると、全員オンラ イン授業のみになります。さあ、どう なることでしょう。

### ■事務局からのお知らせ

□**CSRDA**ディスカッションペーパー **募集のお知らせ**(事務局へ届いたお知 らせです)

東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター (CSRDA) では、実証的社会科学研究の最新成果を迅速に発信することを目的として、CSRDA ディスカッションペーパーへの投稿を募集しています。投稿原稿は随時受け付けております。詳細はこちらのウェブサイトをご覧ください。

https://csrda.iss.u-tokyo.ac.jp/international/DP/

### ■事務局からのお願い

## □メルマガ届いていますか?

本学会では、google グループによる メーリングリストによる広報を行って います。事務局へご登録いただいたメ ールアドレスへ、不定期に「日中社会 学会メールマガジン」が配信されます。 メールマガジンが届いていない方や、 未登録の方、また、メールアドレスに 変更のあった場合は、事務局までお知 らせください。

## □情報をお寄せください

会員の皆様で、出版物のご案内や研究会・シンポジウムの開催のご案内などがございましたら、事務局まで情報をお寄せください。

### □会費納入のお願い

学会活動は皆さまからの会費で支え られております。2020年度までの会費 納入をお願いいたします。一般会員 6000円、学生会員 4000円です。

日中社会学会·郵便口座

口座記号番号:00140-9-161801

加入者名:日中社会学会

\*インターネットバンキング等、銀行からのお振込みの場合は、下記になります。

店名:○一九店 店番:019

口座番号:0161801

\*海外からは paypal での納入も可能になりました。詳細につきましては、事務局までお問い合わせください。

## □異動、住所変更の際はご一報を!

異動、住所変更のあった方は、新しい ご所属、メールアドレス、郵便物送付 先等の情報を事務局までご連絡くださ いますようお願いいたします。

## 日中社会学会ニューズレター No.83

## 編 集:坂部晶子(名古屋大学)

発 行:日中社会学会事務局

〒186-8601 東京都国立市中2-1

一橋大学 · 南裕子研究室

事務局長:中村圭(成城大学)

# info@japan-china-sociology.org

〇日中社会学会・公式 HP

http://www.japan-china-sociology.org/

発行日: 2020 年 8 月